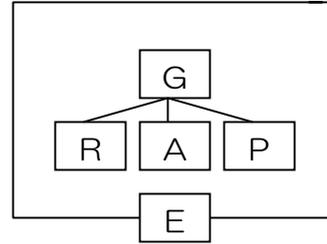


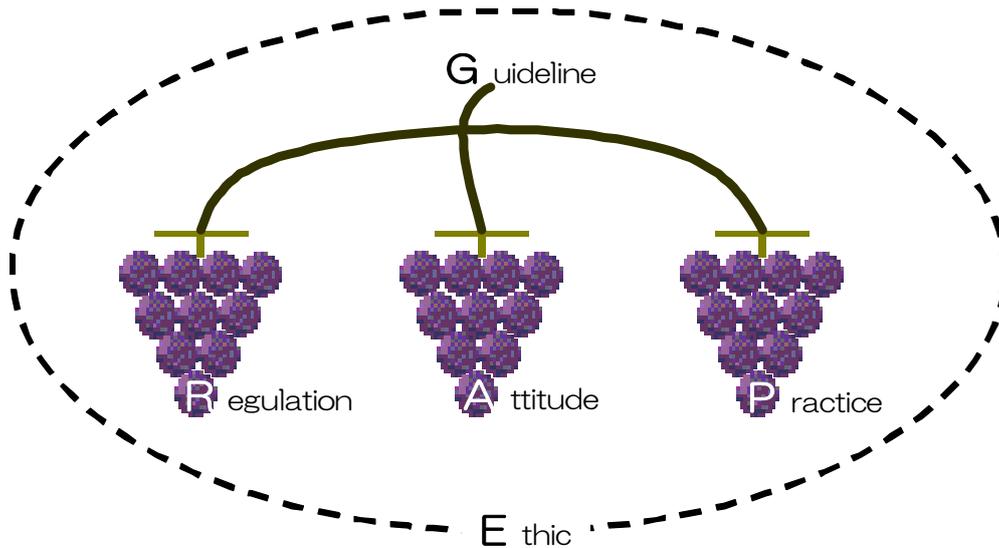
大府市職員行動指針 “GRAPE clusters” -ぶどうの房-

- G: guideline (指針)
- R: regulation (規律)
- A: attitude (姿勢)
- P: practice (実践)
- E: ethic (倫理)



(姿勢、実践、規律) からなる指針の3つの項目群は個別の実(項目)が集まった房である。これらの指針は高い倫理観をもって実行されるものである。

イメージ



意味

指針1項目をぶどうの実1つに置き換え、指針の集合体(3分類)を各々ぶどうの房とした。したがって、行動指針とは、房を束ねるぶどうの木である。倫理とはぶどうの木に与える水であり、生命線である。倫理の水は木の幹を通過して、それぞれの実に行き渡る。各人が、瑞々しく(=倫理観を持ち)、濃厚な(=充実した)ぶどうを育てよう(=行動をしよう)、との意味が込められている。